

水と緑、歴史と現代が調和するまち

ようこそ! 稲城市へ



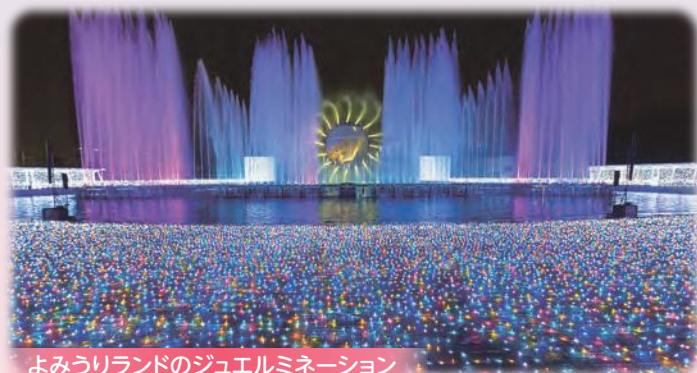
梨園



1のまち いなぎ市民祭



穴澤天神社



よみうりランドのジュエルミネーション



大丸用水



三沢川と桜



© K.Okawara・Jet Inoue

稲城市イメージキャラクター
稲城なしのすけ

ぶらり 散歩SPOT



©K.Okawara・Jet Inoue

1 よみうりランド

京王よみうりランド駅からゴンドラの空中散歩で5～10分。夏は『プールWAI』、冬は『ジュエルミネーション』が一押しです。また、平成28年3月にオープンした、日本最大・モノづくりが体感できる『グッジョバ!!』は1年間を通して楽しめます。



©タツノコプロ・読売テレビ2008



©K.Okawara・Jet Inoue

南多摩駅には稲けの時計台とヤツモニメントがあり、の後ろに立つるような写真が撮

2 三沢川沿いの桜並木

川沿いには約320本もの桜の木が植えられていて、春夏秋冬、いつ歩いても季節の彩りを感じることができます。

春には市役所周辺で「桜・梨の花まつり」が開催されます。



3 大丸用水

江戸時代からの約300年、古人の知恵が巧みに活かされ大切に守られてきた農業用水路。9本の大堀とそこから分岐する約200本の小堀があり、全長は70kmに渡っています。四季を通して美しい景観を楽しめます。



4 若葉台ニュータウンとストリートアート

現代的な街並みと自然の風景が織り成す近未来的な美しい景色を楽しむことができます。菜の花をはじめ、春には梅や桜のお花見もオススメです。

隠れお花見スポットや、フォトスポットが見つかります。



稲城早

稲城の由来

明治22年に近隣の6ヶ村が合併して「稲城村」が誕生しました。

「稲城」の由来は、初代村長となる森清之助から新村名について相談をもちかけられた窪全亮が「稲穂」と「稲城」の2候補を示し、相談の上「稲城」が選ばれた説と鎌倉時代にこの地域を所領としていた武将「稲毛三郎重成」の名前にちなんだとする説があります。



リーグ「東京ヴェルディ」のホームタウンです

東京ヴェルディのホームスタジアムである「味の素スタジアム」で、ヴェルディは熱い戦いを繰り広げます。ぜひ応援をお願いします。



©TOKYO VERDY ©K.Okawara・Jet Inoue

稲城市の

京王よみうりランド駅徒歩5分の所にある穴澤社の例大祭（8月下旬）われる国重要無形民俗文化指定の「江戸の里神楽」内各所で行われる「どんき（塞の神）」など、稲には古くからの伝統や文化が伝承されています。

チョウゲンボウ

市制施行45周年を記念して「チョウゲンボウ」を市の鳥に制定しました。
 チョウゲンボウは、ハトくらいのおおきさのハヤブサの仲間で、自然が豊かな地域でしか見られない大変珍しい鳥です。

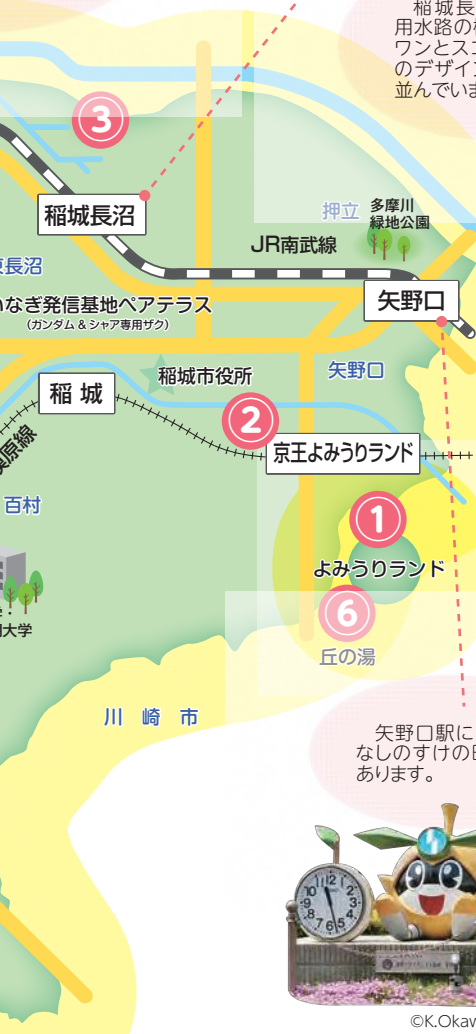
獲物を捕らえる際に上空の一点で停止する「ホバリング」をするのが特徴です。



©タツノコプロ・読売テレビ2008

稲城長沼駅付近の用水路の柵にヤッターワンとスコップドッグのデザインプレートが並んでいます。

城なしのす
 ターワンの
 、モニュメ
 と乗ってい
 ぬます。



5 上谷戸親水公園

上谷戸川周辺を整備してできた親水公園は動植物の生息空間や自然形態の流路を残すことに配慮されていて、自然観察や水遊びができます。

6月頃にはホテルを鑑賞できるイベントが開催され、周辺地区と一体感のある景観を楽しむことができます。



6 日帰り入浴施設

稲城天然温泉「季乃彩」（ときのいろどり）とよみうりランド「丘の湯」があります。

四季を感じられる露天風呂でゆっくりとおくつろぎ下さい。



メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト



©K.Okawara・Jet Inoue ©サンライズ ©サンライズ・R ©創通・サンライズ ©タツノコプロ・読売テレビ2008 ©よみうりランド

稲城市で生まれ、現在も市内に在住されているメカニックデザイナー大河原邦男氏がデザインした作品を市内に設置すること等により、子どもや家族にとって魅力的な街づくりを行い、生き生きとした街を目指すプロジェクトを進行しています。

現在、プロジェクトの一環として南多摩駅・稲城長沼駅の駅前にはキャラクターのモニュメントなどが設置されており、各駅を降りると、稲城市を訪れる人たちをお出迎えしてくれます。

矢野口駅には、稲城なしのすけの時計台があります。



©K.Okawara・Jet Inoue

わかり!

伝統と文化

から
 天神
 で行
 化財
 や市
 ど焼
 城市
 化が



ゴルフが楽しめるまち

東京よみうりカントリークラブ(会員制)

井上誠一氏が設計した雄大なコースであり、特に18番ホールは「魔の18番」とも呼ばれる名物ホールです。年末には日本ツアーの最終戦「ゴルフ日本シリーズ」が開催され、最高峰の戦いが繰り広げられます。

市内には他にも

- ・よみうりゴルフ倶楽部
 - ・多摩カントリークラブ
 - ・桜ヶ丘カントリークラブ
 - ・多摩ヒルズゴルフコース
- もあります。



里山風景が駅のすぐそばに

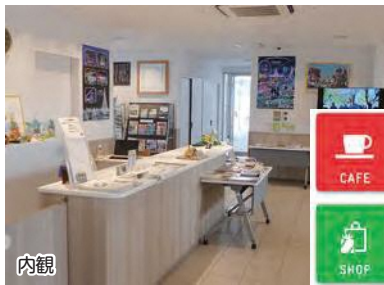
稲城駅を中心とした地区である「百村」には、市街地でありながら、昔からの里山の風景が今でも残されています。雑木林や畑などのほか、近くには奇祭として伝承されている「蛇より行事」が行われる妙見尊があり、辺り一体には森に包まれた自然が昔のまま残っています。駅から徒歩5分で自然に触れることができることも稲城の魅力です。



稲城の情報・特産品をまるごと発信!

いなぎ発信基地ペアテラス

観光関連施設のパンフレット配布や観光スポットのご紹介など、稲城の観光情報をまるごと発信しています。稲城市の特産品や稲城なしのすけグッズの他にも、姉妹都市の北海道「大空町」や友好都市の福島県「相馬市」、長野県「野沢温泉村」の特産品も取り揃えています。施設前には高さ約3.6mの「ガンダム&シャア専用ザク」のモニュメントが立っています。



内観



外観



稲城の太鼓判

稲城の特産品である「梨」や「ぶどう」などを活用し、稲城らしさを表現した地域認証ブランド商品です。稲城らしさをたっぷり盛り込んだ「稲城の太鼓判」を、ぜひご賞味ください!



稲城市では、平成28年10月1日より、公衆無線LANサービス「いなぎFree Wi-Fi」の提供を開始しました。駅周辺や公共施設でご利用いただけます。

店舗等へも順次提供を拡大中です。快適な観光をお楽しみください。

いなぎ発信基地ペアテラスでも利用できます!



稲城といったら、やっぱり「梨」でしょ!



生産量は東京で一番! 特許庁から地域ブランドの認証を受けている「稲城の梨」。その味は格別です。また、稲城市では「高尾ぶどう」の栽培も盛んです。収穫期にはJA東京みなみの直売所や、市内のあちこちに100箇所近くオープンする梨農家の直売所で購入できます。

稲城 (8月下旬から9月上旬)
「稲城市」の冠をかぶった大人気の梨。
柔らかく果汁が多く甘みが強い。

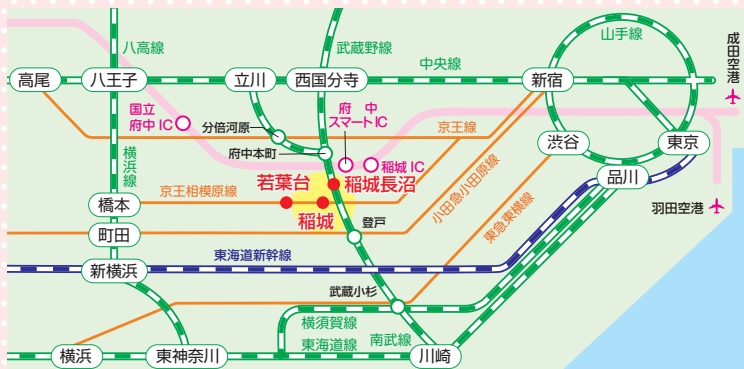
幸水 (8月中旬から下旬)
赤梨。柔らかく多汁。甘みが多く酸味が少ない。

豊水 (9月中旬から下旬)
甘みの中に適度に酸味がある。

清玉 (8月下旬から9月中旬)
青梨。柔らかく多汁。甘みは中くらい。

あきづき (9月中旬から下旬)
赤梨。柔らかく多汁。酸味が少ない。

新高 (9月下旬から10月上旬)
赤梨。稲城より大きく、日持ちも良い。
シャキシャキとして甘みが強い。



電車

- 京王線** 新宿駅→京王よみうりランド駅・稲城駅・若葉台駅 (約30分)
橋本駅→若葉台駅・稲城駅・京王よみうりランド駅 (約20分)
- 南武線** 川崎駅→矢野口駅・稲城長沼駅・南多摩駅 (約40分)
立川駅→南多摩駅・稲城長沼駅・矢野口駅 (約20分)
登戸駅→矢野口駅・稲城長沼駅・南多摩駅 (約10分)

車

- 東京方面から: 首都高速→中央自動車道 (稲城IC利用)
山梨・八王子方面から: 中央自動車道 (国立府中IC又は府中スマートIC利用)

バス

- 羽田、成田からも便利! 羽田・成田～稲城・若葉台 (空港連絡バス)